

2012年 第20回日本線虫学会大会 大会プログラム

9月18日(火)

13:00~14:00 総会

14:15~16:45 一般講演(口頭発表)

(座長:小坂 肇)

14:15 O-11 ○相川拓也・市原 優(森林総研東北) 診断キットを使った年越し枯れアカマツからのマツノザイセンチュウ検出の事例

14:30 O-12 ○金子 彰¹・新屋良治^{1,2}・竹本周平³・二井一禎^{1,4}・竹内祐子¹(¹京大院農・²Caltech・³森林総研・⁴ファイザー) マツノザイセンチュウ純系における病原力と媒介昆虫への便乗力との関係

14:45 O-13 ○Vicente, C.・Nascimento, F.・Espada, M.・Barbosa, P.・Mota, M.・Oliveira, S. (ICAAM/UE) *Are Bursaphelenchus xylophilus*-associated bacteria playing a role in pine wilt disease?

15:00~15:15 休憩

(座長:奈良部 孝)

15:15 O-14 ○澤島拓夫¹・中村 仁¹・佐々木厚子¹・岡田浩明²・竹本周平³・兼松聡子¹(¹果樹研・²農環研・³森林総研) *Tylenchida* 目線虫による菌糸細胞の死滅を伴わない吸汁摂食

15:30 O-15 ○ガスパード ジェロム・山根 泉((有)ネマテンケン) 使い捨てポリチューブを用いる土壌線虫分離方法

15:45 O-16 ○相場 聡(北農研) ダイズシストセンチュウの密度及び寄生性の簡易検定手法の検討

(座長:岩堀英晶)

16:00 O-17 ○武田 藍・市東豊弘・加藤正広・柴田忠裕(千葉農林総研) ベノミル水和剤処理による輸出用植木の線虫密度低減効果

16:15 O-18 ○荒城雅昭(農環研) 大型ポット試験による耕起・不耕起、作物栽培など圃場管理方法が土壌線虫相に及ぼす影響の解明

16:30 O-19 ○Olia, M.・Sayedain, F. S. (Plant Pathology Dep. College of Agri., Shahrekord Univ.) Effects of root-knot nematode (*Meloidogyne javanica*) on plantain medicinal plant (*Plantago major*)

18:00~20:00 懇親会

9月19日(水)

9:30~12:00 20周年記念公開シンポジウム 1 線虫と周辺生物との相互作用

(座長：神崎菜摘)

- 9:30 S1-1 田中龍聖 (佐賀大農・森林総研) 昆虫便乗線虫 *Caenorhabditis japonica* の生態と生理
- 10:00 S1-2 澤島拓夫 (果樹研) 菌類ウイルスと菌食性線虫～線虫による菌糸摂食とウイルス伝搬

10:30~10:40 休憩

- 10:40 S1-3 藤本岳人 (中央農研) ネコブセンチュウに対して植物はどのような防御機構をもっているのか
- 11:10 S1-4 菊地泰生 (森林総研) ゲノムから見た線虫の寄生性
- 11:40 総合討論

12:00~12:15 記念写真撮影

12:15~13:30 昼食休憩

13:30~17:00 20周年記念公開シンポジウム 2 新しい環境保全型線虫防除技術

(座長：岡田浩明)

- 13:30 S2-1 奈良部 孝 (北農研) 孵化促進物質によるジャガイモシストセンチュウ防除
- 14:05 S2-2 豊田剛己・佐藤恵利華 (東京農工大 BASE) リアルタイム PCR による線虫密度診断技術

14:40~14:50 休憩

- 14:50 S2-3 水久保隆之 (中央農研) 微生物処理誘導抵抗性によるナス科果菜類のネコブセンチュウ防除技術
- 15:25 S2-4 杉田 亘 (宮崎総農試) ピーマン産地の連携による線虫抵抗性選抜システムの開発と土壌病虫害複合抵抗性台木品種の育成
- 16:00 S2-5 植松清次¹・門馬法明²・與語靖洋³・小原裕三³ (1千葉農林総研・2日本園芸生産研・³農環研) 低濃度エタノールを用いた土壌還元消毒法による土壌病虫害防除技術
- 16:35 総合討論

9月20日(木)

9:30~10:15 一般講演 (口頭発表)

(座長：相場 聡)

- 9:30 O-21 ○岩堀英晶・上杉謙太・立石 靖・吉田睦浩 (九沖農研) 日本の主要ピーマン産地における加害ネコブセンチュウ種と抵抗性打破線虫の発生頻度

9:45 O-22 ○竹之下佳久¹・杉田 亘² (1鹿児島農総セ・2宮崎総農試) 2種のネコブセンチュウに対するピーマン及びトウガラシ類の抵抗性評価

10:00 O-23 ○百田洋二¹・藏之内利和²・高田明子³・藤田敏郎²・熊谷 亨³ (1元作物研・2作物研・3農研機構本部) 茨城・千葉のサツマイモネコブセンチュウ SP レース

10:15~11:15 一般講演 (ポスター発表)

10:20~10:45 奇数番号コアタイム

10:45~11:10 偶数番号コアタイム

P-1 ○吉田睦浩¹・小長谷達郎² (1九沖農研・2筑波大学) モンシロチョウ幼虫から得られたシヘンチュウの生物学のおよび形態学的知見

P-2 ○田中龍聖^{1,2}・神崎菜摘² (1佐賀大農・2森林総研) ヨツボシモンシデムシ関連線虫の生活史

P-3 ○Kanzaki, N.¹・Tanaka, R.¹・Giblin-Davis, R. M.²・Ragsdale, E. J.³・Nguyen, C. N.⁴・Li, H.-F.⁵・Lan, Y.-C.⁶ (1FFPRI・2Univ. of Florida・3Max Planck Inst.・4IEBR-VAST・5Academia Sinica・6Univ. of Kang Ning) Diversity of fig and fig wasp-associated nematodes: a preliminary survey in the Asian subtropics

P-4 ○奥村悦子・吉賀豊司 (佐賀大農) *Caenorhabditis japonica* 耐久型幼虫の負の走地性

P-5 竹本周平・○神崎菜摘 (森林総研) 弱病原性マツノザイセンチュウ株の系統的位置づけと地理的起源に関する考察

P-6 ○加藤徹朗¹・二井一禎^{1,2}・竹内祐子¹ (1京大院農・2ファイザー) 16S rRNA アプローチによるマツノザイセンチュウ体表随伴細菌相の解析

P-7 ○大西智康・大田哲史・杉田 亘・前畑祐喜・長田龍太郎 (宮崎県総農試) 線虫大量接種法の確立

P-8 ○古川勝弘¹・伊藤 舞²・今野敏文² (1道総研北見農試・2網走農改) ジャガイモシストセンチュウ検診のための土壌サンプリング法の検討

P-9 ○松澤清二郎・遠藤昌伸・中野 潔 (新潟園研) 活性炭処理土壌における殺線虫剤の防除効果の低下

P-10 ○伊藤崇浩¹・荒城雅昭²・東 達哉¹・星野雅義³・小松崎将一³ (1東京農工大・2農環研・3茨城大) 有機大豆栽培圃場における土壌線虫群集の季節変動

P-11 ○岡田浩明¹・朱 春梧²・酒井英光¹・常田岳志¹・中村浩史³・長谷川利拡¹ (1農環研・2中国科学院・3太陽計器) 地球温暖化が水田の土壌生物群集に及ぼす影響の解明ーネモグリセンチュウ密度への影響ー

11:15~12:30 一般講演 (口頭発表)

(座長: 相場 聡)

11:15 O-24 ○山根 泉・ガスパード ジェロム ((有)ネマテンケン) 土壌と鉢植えのポリ袋熱処理線虫駆除

11:30 O-25 ○高木素紀¹・後藤万紀²・齋藤望奈¹・田村克明³・川島誠蔵³・宮本拓也⁴・鹿島哲郎¹ (1茨城農総セ園研・2茨城農総セ鹿島特産・3(株)タイガーカワシマ, 4茨城県県南農林事務所) 温湯処理によるレンコンネモグリセンチュウ *Hirschmanniella diversa* の防除効果と温湯処理がレンコンの生育に及ぼす影響

(座長：岡田浩明)

- 11:45 O-26 ○兒山裕貴¹・斉藤望奈¹・豊田剛己¹・澤田英司²・阿部成人² (1東京農工大 BASE・
²徳島県立農林水産総合技術支援センター) 徳島県レンコン圃場におけるリアルタイム PCR 法を用
いたレンコンネモグリセンチュウの要防除水準の作成
- 12:00 O-27 ○Kawanobe, M.¹・Ito, D.¹・Koyama, Y.¹・Miyamaru, N.²・Maeda, K.³・Toyota, K.¹
(¹Tokyo Univ. of Agri. & Tech. ・²Okinawa Pref. Agri. Res. Ctr. ・³Daitou Tougyou Corp.)
Development of the real-time PCR primers specific to sugarcane-parasitic nematodes,
Helicotylenchus dihystrera, *Pratylenchus zaeae* and *Tylenchorhynchus leviterminalis*, in Minami-
daito island
- 12:15 O-28 ○村上理沙・豊田剛己・Yu Yu Min (東京農工大 BASE) リアルタイム PCR 法を用い
たキタネコブセンチュウ定量のための検量線作成の試み